



被災者伝承事業

～被災によって後悔しないために、今私たち自身に必要なこと～

1.主旨

多発化、激甚化する自然災害によって、今や誰もが被災者になる可能性があります。

このたび、平成 26 年 8 月豪雨で被災された方を講師に招き、自ら命を守る「自助」、地域で助け合う「共助」の視点で、災害に備えることの大切さを学ぶ講演会を開催します。

講演会終了後には、自分自身が被災によって後悔しないための行動を考えるワークショップも行います。

2.日時

2025年3月8日(土) 14:00～16:00(開場 13:30)

3.場所

安芸高田市民文化センター クリスタルアージュ 4階小ホール
(安芸高田市吉田町吉田 761)

4.対象者

自主防災組織に所属する方 ※事前の申し込みが必要です

5.講師紹介



広島市豪雨災害伝承館

副館長 まつい けん
松井 憲 さん

平成 26 年 8 月豪雨の際、安佐南区の自宅で被災。

その後、「あの辛い思いを二度と誰にも経験してほしくない。犠牲者が一人も出てほしくない。」との強い思いから、災害の実相を継承していくための公的施設『広島市豪雨災害伝承館』の開館に向け尽力。2023 年 9 月開館。

2024 年には、消防庁の防災意識向上プロジェクトにおいて「語り部」を受嘱。現在、県内を中心に全国各地で講演されるなど、幅広く活躍されている。